

ダム位置図



S = 1 / 200,000

# 湯沢 砂防 ダム



## 1983

長野県犀川砂防事務所  
坂井村



# ダムの諸元

1 河川名 信濃川水系犀川支麻績川小支安坂川支湯沢川

2 ダムの位置 長野県東筑摩郡坂井村字湯沢

## 3 ダムの諸元

流域面積	0.7km <sup>2</sup>	最大洪水量	11.2m <sup>3</sup> /s
最大時間雨量	60mm/hr	現況河床勾配	1/7.3
流出係数	0.8	計画堆砂量	117,000m <sup>3</sup>
土砂混入率	20%	有効貯水量	35,400m <sup>3</sup>
比流量	16.0m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup>	湛水面積	6,300m <sup>2</sup>

## 4 ダムの概要

(1) 型式 コンクリート重力式 (表法 1:0.2 裏法 1:0.7)

(2) 主要部寸法

各部	工種	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
				側壁	水叩	
堤長		97.0m	31.3m	26.3m	23.7m	
堤高		25.0m	8.5m	8.3m	(厚さ) 1.5m	
天端巾		2.5m	2.5m	0.5m	8.9m	
堤底巾		25.0m	6.3m	3.0m	8.0m	
立積		18,438m <sup>3</sup>	1,023m <sup>3</sup>	767m <sup>3</sup>	306m <sup>3</sup>	ΣV=20,534m <sup>3</sup>
道路関係		付替林道 L=364.9m W=3.0m		運搬路 L=445.1m W=3.0m		

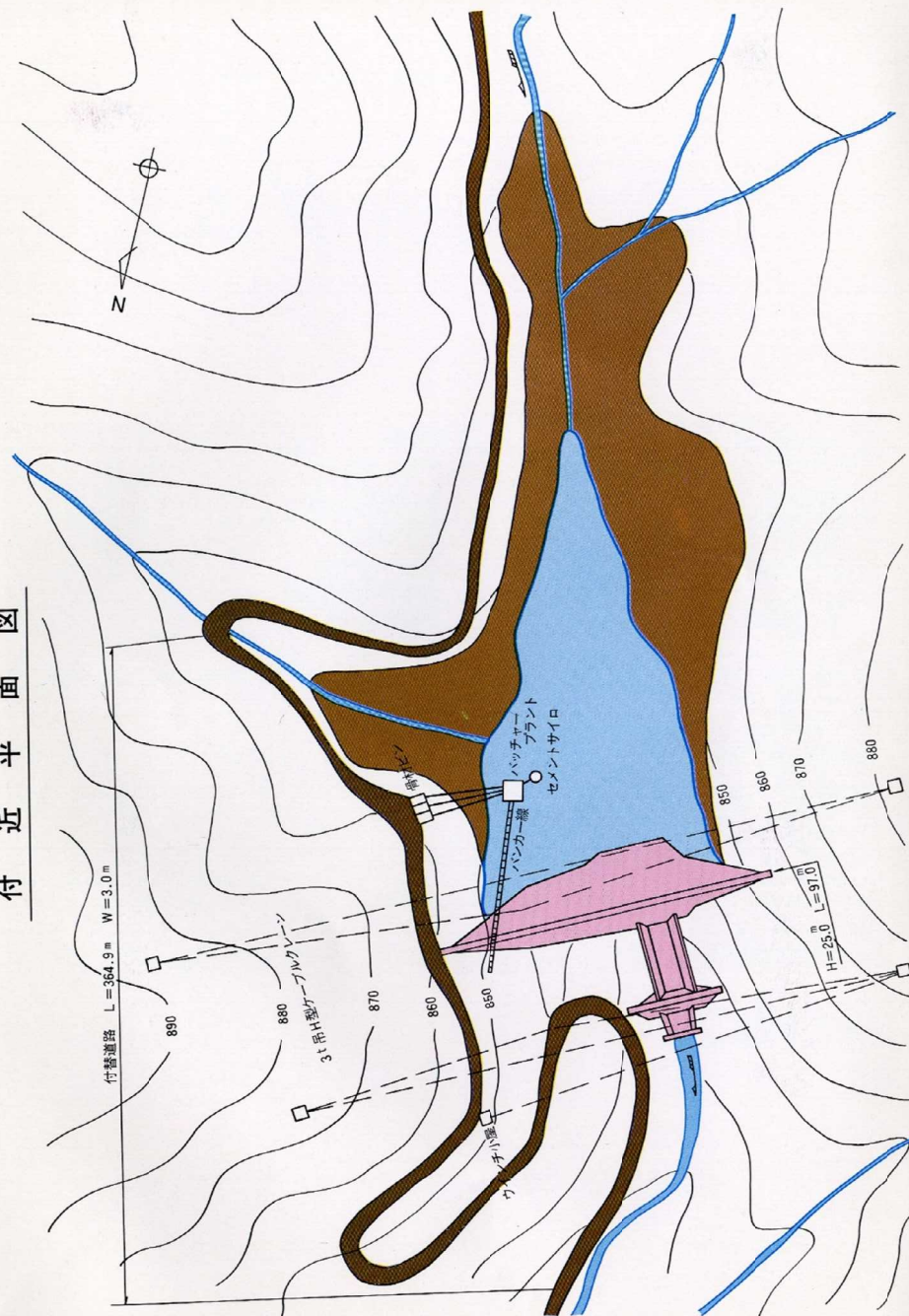
## 5 事業効果

耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋梁
5 ha	20 ha	50戸	1,200m	3

6 施工期間 着工 昭和53年4月 しゅん工 昭和58年3月

7 事業費 665,300千円

図 付 近 平 面





## 湯沢砂防ダムの概要

湯沢川は、坂井村南方の大沢山(標高1,440 m)から修那羅峠(標高973 m)を結ぶ稜線(小県郡青木村境)に源を発し、北に向って流れ、安坂川に合流する延長約 2.3kmの急流河川で、流域一帯の地質は第三紀中新世の砂岩層及び砂岩と泥岩の互相からなり、表層近くは風化度も高く、降雨時の土砂流出が多く、過去幾たびか災害を起こしている。

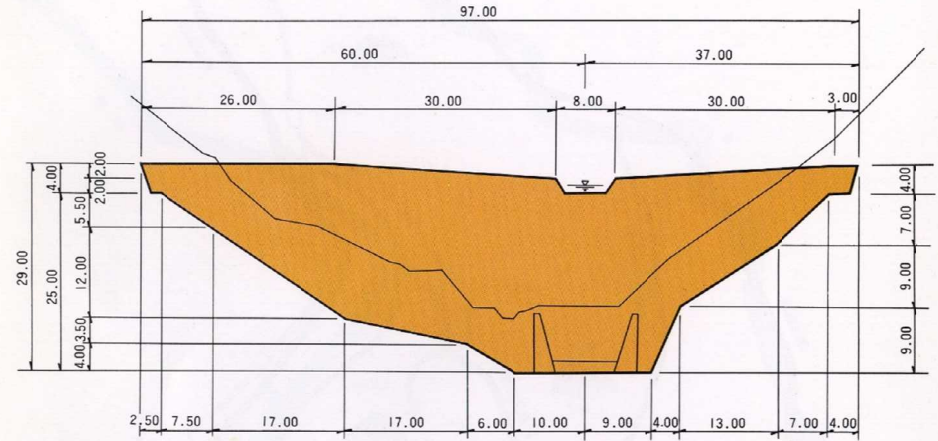
特に昭和34年の集中豪雨時には、大量の土石流により下流の安坂川を氾濫させ付近の人家、耕地、道路等に多大な被害を与えた。



万事の願いをこめて静かに立つ修那羅の石仏

当ダムの完成により、地域住民の人命、財産の被害を未然に防止するとともに、下流一帯の早ばつ地帯への豊かな水の供給源となり、地域開発の寄与はきわめて大きなものと期待されている。

### 正面図



### 側面図

